

# 11 教育・文化

- 1 学校・幼稚園の状況
- 2 児童・生徒の平均体位
- 3 小学校の概況
- 4 中学校の概況
- 5 中学校卒業生の進路状況
- 6 歴史民俗資料館利用状況
- 7 社会教育事業
- 8 公民館施設利用状況
- 9 図書室利用状況
- 10 県指定文化財
- 11 町指定文化財

# 1 学校幼稚園の現況

平成26年5月1日現在

学校・幼稚園等	学級数	児童生徒数			教員数			1学級 当たり 児童 生徒数	特別 支援 学級数 (再掲)	教員1人 当たり児 童生徒数
		計	男	女	計	男	女			
石川町立石川小学校	17	人 376	人 181	人 195	人 26	人 12	人 14	人 22	2	人 15
〃 沢田小学校	7	107	56	51	13	5	8	15	1	8
〃 野木沢小学校	6	117	62	55	10	3	7	20	0	12
〃 母畑小学校	4	40	20	20	7	3	4	10	0	6
〃 中谷第一小学校	5	49	21	28	9	2	7	10	1	5
〃 中谷第二小学校	3	14	7	7	6	2	4	5	0	2
〃 山形小学校	3	19	8	11	6	2	4	6	0	3
〃 南山形小学校	4	24	16	8	7	2	5	6	0	3
小学校計	49	746	371	375	84	31	53	15	4	9
石川町立石川中学校	14	361	176	185	28	16	12	28	2	13
〃 沢田中学校	3	49	19	30	11	6	5	16	0	5
私立 石川義塾中学校	3	72	33	39	4	3	1	24	0	18
中学校計	20	482	228	254	43	25	18	24	2	11
私立 石川文化幼稚園	6	99	46	53	10	1	9	19	0	10
幼稚園計	6	99	46	53	10	1	9	20	0	10
福島県立石川高等学校	9	289	149	140	30	18	12	32	0	10
学校法人石川高等学校	22	825	459	366	44	34	10	38	0	19
高等学校計	15	388	195	193	40	19	21	26	0	13
特別支援学校	37	125	95	30	78	24	54	3	0	2

資料:学校統計要覧

## 2 児童・生徒の平均体位

年齢(学年)	国 県 町	身長(cm)		体重(kg)		座高(cm)	
		男	女	男	女	男	女
6 歳 (小1年)	国	116.5	115.6	21.3	20.9	64.8	67.3
	県	116.8	115.6	22.3	21.3	64.9	67.4
	町	117.0	114.1	21.9	21.3	64.7	63.8
7 歳 (小2年)	国	122.4	121.6	24.0	23.5	67.6	67.3
	県	121.8	121.7	24.4	24.0	67.4	67.4
	町	121.5	120.6	24.4	25.7	67.2	67.1
8 歳 (小3年)	国	128.2	127.4	27.1	26.3	70.3	69.9
	県	127.6	128.0	27.5	27.7	70.0	70.4
	町	128.1	127.9	28.6	28.1	70.3	69.0
9 歳 (小4年)	国	133.6	133.4	30.5	29.9	72.6	72.6
	県	133.9	134.3	31.8	31.3	72.8	73.1
	町	134.2	132.4	32.8	30.6	73.2	72.2
10 歳 (小5年)	国	138.9	140.1	34.4	34.0	74.9	75.8
	県	139.3	140.6	35.6	34.9	75.3	76.1
	町	139.5	140.1	36.0	35.4	75.6	76.4
11 歳 (小6年)	国	145.0	146.7	38.2	39.9	77.5	79.2
	県	146.0	146.8	41.0	39.9	78.2	79.5
	町	144.3	146.2	37.7	40.6	77.7	79.3
12 歳 (中1年)	国	152.4	151.9	44.0	43.7	81.3	82.2
	県	154.1	152.3	46.2	44.6	82.5	82.7
	町	153.9	152.4	47.7	45.8	81.8	81.9
13 歳 (中2年)	国	159.5	155.0	49.0	47.4	84.9	83.9
	県	159.5	155.0	50.1	48.2	85.5	84.2
	町	153.9	152.4	47.7	45.8	81.8	81.9
14 歳 (中3年)	国	165.1	156.5	54.2	49.9	88.2	84.9
	県	165.9	156.3	55.5	51.2	88.7	85.1
	町	165.8	157.2	55.1	52.6	88.8	84.3

資料:福島県統計調査編 学校保健統計調査結果報告書・町教育委員会

### 3 小学校の概況

年次	学校数	学級数				教員数(人)			職員数(人)	在学者数(人)														
		総数	単式	複式	特支	総数	男	女		総数			1年		2年		3年		4年		5年		6年	
										計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成17年度	8	60	49	6	5	92	42	50	20	1,033	520	513	76	90	99	71	63	87	90	85	93	88	99	92
18	8	58	47	7	4	93	39	54	21	990	491	499	74	79	77	91	96	72	63	85	90	84	91	88
19	8	57	45	8	4	94	37	57	20	961	468	493	70	81	74	80	78	91	93	70	64	86	89	85
20	8	58	47	7	4	93	35	58	21	930	455	475	78	64	70	82	74	79	76	92	93	73	64	85
21	8	56	43	9	4	88	33	55	22	938	468	470	73	81	78	64	73	80	74	79	77	92	93	74
22	8	55	40	10	5	88	32	56	17	904	445	459	79	60	70	82	73	64	73	81	73	79	77	93
23	8	52	35	12	5	84	32	52	11	893	448	445	66	73	78	60	75	84	78	62	75	83	76	80
24	8	52	38	10	4	84	34	50	11	816	401	415	48	53	63	71	76	61	70	84	71	63	73	83
25	8	49	33	12	4	83	31	52	8	778	387	391	60	59	46	55	64	70	77	62	70	82	70	63

資料:学校基本調査

### 4 中学校の概況

年次	学校数	学級数					教員数(人)			職員数(人)	在学者数(人)											
		総数	1年	2年	3年	特支	総数	男	女		総数			1年		2年		3年				
											計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
平成17年度	2	23	8	8	6	1	47	29	18	8	645	303	342	90	126	110	110	103	106			
18	2	23	7	7	8	1	46	27	19	8	629	301	328	102	92	90	125	109	111			
19	2	22	7	7	7	1	44	27	17	9	593	285	308	93	89	102	94	90	125			
20	3	23	7	7	7	2	41	23	18	7	576	295	281	99	97	94	89	102	95			
21	3	23	7	6	7	3	39	22	17	7	543	264	279	70	95	99	96	95	88			
22	3	23	7	6	7	3	38	21	17	6	546	265	281	97	90	69	94	99	97			
23	3	24	8	7	6	3	40	22	18	6	539	252	287	85	104	98	87	69	96			
24	3	22	7	6	7	2	37	22	15	6	525	258	267	77	81	83	99	98	87			
25	3	22	7	6	7	2	39	23	16	6	511	235	276	78	97	74	81	83	98			

資料:学校基本調査

### 5 中学校卒業生の進路状況

(単位:人)

年次	総数			進学者			専修学校等入学者			就職者			無業者			進学率	就職率
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
平成17年度	224	113	111	224	113	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0.0%
18	209	103	106	206	101	105	1	1	0	0	0	0	0	0	0	98.6%	0.0%
19	221	110	111	218	108	110	0	0	0	0	0	3	2	1	98.6%	0.0%	
20	215	90	125	210	87	123	2	0	2	0	0	3	3	0	97.7%	0.0%	
21	197	102	95	197	102	95	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%	0.0%	
22	183	95	88	181	93	88	1	1	0	1	1	0	0	0	98.9%	0.5%	
23	196	99	97	195	99	96	0	0	0	0	0	1	0	1	99.5%	0.5%	
24	163	70	93	162	70	92	0	0	0	1	0	1	0	0	99.4%	0.6%	
25	184	97	87	183	97	86	0	0	0	0	0	1	0	1	99.5%	0.0%	

資料:学校基本調査

## 6 歴史民俗資料館利用状況

年 度	利 用 人 員	開 館 日 数	1日平均入館者数
	人	日	人
平成17年度	1,864	294	6.3
18	1,542	297	5.2
19	1,620	296	5.5
20	1,570	298	5.3
21	1,867	295	6.3
22	1,976	289	6.8
23	1,362	298	4.5
24	1,762	299	5.9
25	1,851	303	6.1

資料:町歴史民俗資料館

## 7 社会教育事業(平成25年度)

分 類	事業数(学級・講座等)	人 員 (人)
青 少 年 教 育	4	1,090
成 人 教 育	2	172
社 会 体 育 事 業	0	0
芸 術 文 化 事 業	3	1,530
そ の 他	3	450
合 計	12	3,242

資料:町公民館

## 8 公民館施設利用状況

区 分	人 員 (人)
平成17年度	47,942
18	49,771
19	45,585
20	38,030
21	10,540
22	16,182
23	10,442
24	11,395
25	19,752

資料:町公民館

## 9 図書室利用状況

区 分	人 員 (人)	貸出冊数(冊)
平成17年度	625	2,050
18	679	1,891
19	1,794	2,414
20	4,389	6,881
21	4,822	8,375
22	4,900	7,678
23	5,445	8,168
24	5,738	9,993
25	5,484	9,194

資料: 石川町公民館

※平成19年度7月1日～10月26日まで図書室改修

## 10 県指定文化財

平成26年4月1日現在

種 別	名 称	所在地	指定年月日	所有者又は管理者	文化財の概要
美術工芸品	薬王寺の版木	字高田200の2 石川町立歴史民俗資料館	昭和28年10月1日	薬 王 寺	薬王寺(真言宗)に残る、鎌倉時代末から南北朝時代にかけての版木81枚である。内訳は、仁王般若経版木11枚・正慶元年(1332)の銘、妙法蓮華経版木70枚・康暦2年(1380)の銘となっている。これにより、薬王寺が盛んに経文を印刷して布教活動をしていたことが分かる。
美術工芸品	石都々古和気神社の鰐口	字下泉150	昭和28年10月1日	石都々古和気神社	石都々古和気神社は、石川氏の居城とされる石川城(三芦城)の本丸に築かれた神社である。応永30年(1423)に奉納された銅製の鰐口には「奥州石川庄泉村館之八幡宮之鰐口也 応永卅年癸卯卯月五日大旦那源持光別当重慶敬白」の銘があることから、石川持光が寄進したものと分かる。石川地方で最古の鰐口である。
天然記念物	高田ザクラ	字高田280の1	昭和31年9月4日	石 川 町	北須川沿岸の高台にある樹齢約500年の老木で、種類はエドヒガンザクラ。開花は4月中旬頃である。樹高は約18mで、幹の直径は約1m90cm。
天然記念物	中ノ内のフジ	大字北山形字中ノ内154	昭和39年3月24日	個 人 所 有	樹齢約300年と推定される老木で、桜の古木にからみつき、開花時には異様なまでに美しい。種類はノダフジで、5月中旬頃が見頃。隔年開花が珍しい。
天然記念物	球状花崗岩	大字北山形字中ノ内141の1外	昭和46年4月13日	個 人 所 有	径6～8cmの球状の岩で、中心部に黒雲母が集まり、その外環を石英、長石類が並び、さらに一番外側を斜長石類が包んでいる。花崗岩の鉱物が同心円状に配列するものは、世界的にも成因上珍しい。
天然記念物	石川のペグマタイト鉱物	字高田200の2 石川町立歴史民俗資料館	平成7年3月31日	個 人 所 有	ペグマタイトとは、地下約1万mでつくられた花崗岩のうち、残りの揮発成分の多い残留マグマが岩石の割れ目に入り込んでできたものである。脈状と塊状に分けられる。花崗岩に入り込めなかった希元素等が残留マグマに集まっているため、様々な鉱物がつくられ、また、ゆっくりと冷えて固まったため、石英・長石・雲母・ざくろ石・電気石等の鉱物が大きな結晶になっている。
史 跡	大壇古墳群	大字新屋敷字田上45外	昭和46年4月13日	個 人 所 有	前方後円墳2基と円墳7基からなる、6世紀初頭から7世紀初頭にかけての古墳群である。なかでも1号墳は最大の方後円墳(6世紀初頭)で、墳丘部の長さが約39mあり、周溝の跡も認められる。
史 跡	鳥内遺跡	大字新屋敷字耕土71外	昭和53年4月7日	個 人 所 有	縄文時代後期から弥生時代中期にかけての遺跡で、特に、弥生時代前半期の再葬墓(遺体を一旦骨だけにしてその後土器の中に再び葬る葬法)が多く検出された遺跡として全国的に有名である。また、東海地方の水神平式土器、九州地方の遠賀川系土器が出土しており、特に前者は、直接東海地方から運ばれたものと考えられている。これより、弥生文化(稲作文化)北上の様子が鳥内遺跡からうかがうことができる。
史 跡	悪戸古墳群	大字中野字悪戸204の1外	昭和55年3月28日	個 人 所 有	横穴式石室を持つ9基の円墳からなる群集墳である。開口している1号墳は墳丘の長さが最大で約20mで、石室を巨石で築いている。鉄鏃・刀子(小刀)・釘などが出土しており、築造年代は7世紀初頭と考えられている。
古 文 書	石川大蔵院文書	字高田200の2 石川町立歴史民俗資料館	平成7年3月31日	個 人 所 有	大蔵院は中世以来石川66郷、さらには竹貫郷の熊野参詣先達職及び年行事職を任されていた修験の寺である。元禄元年ごろまで八大院と称していた。文書は八大院を経て大蔵院に伝来したもので、2巻14通と文書箱1つが現存する。石川地方の修験の在り方を示す史料として貴重なものである。
考古資料	鳥内遺跡出土遺物	字高田200の2 石川町立歴史民俗資料館	平成18年4月7日	石 川 町	鳥内遺跡出土資料のうち、土器90点と人面付土器1点が県の重要文化財に指定されている。土器については、東海地方から直接運ばれたとされる水神平式土器をはじめ、九州、甲信越、北関東、そして東北と5つの地域相が見られる。これは、ほかでは見ることができない鳥内遺跡独自の様相である。人面付土器については、全国でも出土点数が少なく大変な資料貴重である。

資料:町教育課

## 11 町指定文化財

平成26年4月1日現在

種別	名称	所在地	指定年月日	所有者又は管理者	文化財の概要
建造物及び美術工芸品	薬王寺の薬師堂及び仏像	字大室563	昭和51年10月27日	薬王寺	薬師堂は、以前は藤原時代の様式だったといわれ江戸時代中期に建て替えのため改変されたと伝えられる(須弥壇下に元文2年(1737)と記されている)。堂宇は方三間、方形造の瓦葺きの建物である。室内には鎌倉時代に彫られたとされる阿弥陀如来座像や、本尊薬師如来像、十二神将像が安置されている。なお、日光菩薩立像の胎内には「延文二年(1357)」の銘が見られる。
美術工芸品	華蔵寺の銅鐘	字下泉242	昭和51年10月27日	華蔵寺	延宝8年(1680)の作で、高さ85cm、口径63cmを測る。また、「延宝八年康申仲夏吉辰」の銘が刻んである。
美術工芸品	乗蓮寺の銅鐘	字下泉305	昭和51年10月27日	乗蓮寺	元禄10年(1697)、鈴木庄右衛門信利が大施主となりつくられたもので、治工は佐野の橋本八右衛門であり、このときの住職は中興14世祐源であった。大きさは総高1m15cm、口径60cmを測る。
建造物	福満虚空蔵堂	大字北山形字滝ノ口	昭和51年10月27日	北山形区	虚空蔵堂は天正年間(1573年～1591年)に、石川昭光の姉・浄仙尼が尾巻山に草庵を結び、山頂に虚空蔵尊を安置し、「権現の本地奥の院」と称したのがはじまりとされている。本尊である虚空蔵菩薩像は徳一大師作と伝えられ、丑寅生まれの人たちの守り本尊として現在でも厚い信仰を集めている。
無形民俗文化財	北山のささら	北山地区	昭和51年10月27日	北山ささら保存会	約300年前から始まったと伝えられている。津島神御神体(スサノオノミコト)を祀って旧6月15日に天王祭として奉納される。女人禁制で、内容は獅子舞、神楽の舞、白鍬の舞、四方固からなる。
無形民俗文化財	下母畑の熊野講	母畑地区	昭和51年10月27日	下母畑熊野講保存会	18世紀中頃以前から開始されたと伝えられる。長石田地内にある熊野神社に、旧暦12月に各家で収穫したものを持ち寄って、神前に供え豊作の感謝をし、翌年の豊作を祈る行事である。
無形民俗文化財	湯郷渡のささら	湯郷渡地区	昭和51年10月27日	湯郷渡無形文化財保存会	伝承によれば、元禄時代以前から始められたと伝えられる。八幡神社に獅子舞、四方固、御神楽舞、白鍬踊など奉納する。昭和27年以降奉納は中断されていたが、昭和48年に保存会が結成され、奉納が再開された。祭礼日は9月本祭日。
無形民俗文化財	中田のささら	中田地区	昭和49年9月28日	中田郷民俗芸能保存会	江戸時代後半頃から開始されたものと思われる。毎年9月の第3日曜日に、中田地区の八幡神社と湯殿神社(旧名称:湯殿山神社)で執り行われる。様式は、三匹獅子舞、四方固め、前差し神楽、あばれ神楽、鈴え段、鍾馗(しょうぎ)の舞、火男の舞、おかめの舞、白鍬の各舞からなる。
無形民俗文化財	上母畑のささら	母畑地区	昭和60年12月7日	蘇染木神社民俗芸能保存会	18世紀後葉以前から始まったものと思われる。蘇染木神社境内で執り行われる。特徴として、女性は参加しない風習があり、白鍬踊りについては古老、青年、少年に限られる。祭礼日は9月19日。
無形民俗文化財	上母畑の白鍬踊	母畑地区	昭和60年12月7日	上母畑白鍬踊り保存会	18世紀後葉以前からの開始と考えられる。東八幡神社・上母畑神社境内で執り行われる。女人禁制で、その年に葬式、出産があったものは参加できない。祭礼日は9月第3日曜日。
史跡	石川公墓地	字高田271	昭和51年10月27日	長泉寺	石川氏17代義光より23代晴光まで7代の墓所。昭光公が石川を去り角田に移って400年にあたる平成2年、開基義光公550回大遠忌が行われ、あわせて損傷の激しい宝篋印塔や五輪塔の修復工事が行われた。規模は間口が約2m75cm、奥行が1m50cm。五輪塔には「石川駿河守植光享禄三伊勢守晴光」の銘が見られる。

## 11 町指定文化財

平成26年4月1日現在

種 別	名 称	所在地	指定年月日	所有者又は管理者	文化財の概要
古 文 書	迎森一文書	字高田200の2 石川町立歴史民俗 資料館	平成3年3月25日	個 人 所 有	天正18年(1590)、石川昭光が石川の地を離れる年に書かれた充行状である。石川宗家の家臣・迎家に伝わる。
古 文 書	吉田光一文書	字下泉150	平成3年3月25日	石 都 々 古 和 氣 神 社	初代石川町長・吉田光一が所有していた文書で、石都々古和氣神社に伝わる。9通あったが、伊達政宗書状1点が所在不明であり、現在は8通が残る。
古 文 書	伊達政宗書状	字新町80の1 石川町教育委員会	平成15年9月5日	石 川 町	天正17年(1589)6月、伊達政宗が叔父にあたる石川昭光に宛てた書状。昭光は常陸佐竹氏に従属していたが、密かに政宗に通じており、天正18年11月4日、起請文を交換し政宗に服属した。したがって、本書状は昭光が政宗に服属するに当たっての両者の交渉過程に関わるものであり、石川氏と石川町の歴史にとって重要文書である。
彫 刻	谷地木造千手観音菩薩立像	大字谷地字竹ノ花	平成5年5月1日	谷 地 区	高さ104.3cmを測る。当時は11面42臂であったが一部欠失している。桂材の寄木造で、鎌倉時代の作。作風も洗練されており、中世の様式を伝える美術的にも優れた造形性を示している。
彫 刻	光渡寺木造地藏菩薩坐像	大字板橋字沢古屋	平成21年6月5日	光 渡 寺	高さ52cm、カヤ材を前後に貼り合わせた寄木造の手法で造られている。造立時期は南北朝時代(1336年～1392年)と考えられる。また、本像は古殿町西光寺本尊の木造地藏菩薩坐像(県指定重要文化財)と作風・技法が共通している。西光寺の仏像は、中央仏師である円派仏師によるものであることから、本像も円派仏師の造立の可能性が高い。
建 造 物	鈴木家主屋及び門	字下泉163の1	平成7年5月20日	石 川 町	鈴木家は、江戸時代に石川組16ヶ村の大庄屋を務め、武士身分に相当する郷土にも列せされた。表門は郷土の特権として建立されたものと推定できる。また、明治前期には自由民権運動で活躍した鈴木荘衛門・重謙親子の居宅であり、ここでは度々演説会などが開かれた。主家の間取りや機能から考えると、当時の農民住居のうちでも、村役人層のものが見ることができ、本町では残り少ない農家住宅として貴重なものである。現在では、修復されるべく部材倉庫に保管されている。門は、表道路に面して屋敷境よりやや後退して建っている。いわゆる薬医門で、民家屋敷の門としては相当に異例で、かつ入念な造りである。建築年代は、文化4年(1807)、棟梁は栃木県芳賀郡市貝町出身の宮大工、町井六左衛門である。
考 古 資 料	曲木石造供養塔婆群	大字曲木字坂ノ下 81の2	平成8年6月1日	光 国 寺	14基の石造供養塔婆群からなる。いずれも石質は安山岩質凝灰岩。年号や願文、造立者名が見られるものは8基あり、なかには町の石造塔婆中最も古い「建治元年(1275)銘の胎蔵界大日如来種子がある。
考 古 資 料	安養寺の石造供養塔婆	大字沢井字東内打 305	平成8年6月1日	安 養 寺	石川地方の特色である線彫の阿弥陀三尊来迎種子で、石材は安山岩質凝灰岩で造られている。山形の頭部を有し、二条の切込線は三方を刻み、「応長二年(1312)壬子正月廿日逝去也」の銘が見られる。
考 古 資 料	和久石造供養塔婆群	字和久299	平成8年6月1日	個 人 所 有	かつて薬師堂があったと伝えられるところに3基の石造供養塔婆がある。線彫のものは2基あり、阿弥陀三尊来迎種子と、ほぼ全体が赤や青で彩色された阿弥陀一尊種子である。もう1基は、浮彫の阿弥陀一尊種子。いずれも石材は安山岩質凝灰岩で造られている。
考 古 資 料	館石造五輪塔	大字沢井字館81	平成8年6月1日	個 人 所 有	石川氏の一族である沢井氏の城跡と伝えられる、沢井城跡の東側中腹にある。高さ171.5cmを測る。近年、整備事業を行ったところ、五輪全てに梵字が刻まれていることが判明した。また、空・風輪は一石でつくられているが、後世になってつくられたものであり、火輪以下が鎌倉時代末期から南北朝時代初期の作であると考えられる。

## 11 町指定文化財

平成26年4月1日現在

種 別	名 称	所在地	指定年月日	所有者又は管理者	文化財の概要
天 然 記 念 物	塩釜神社のアカガシ樹叢	石川町字当町	平成21年6月5日	塩釜神社及び個人所有	塩釜神社には、神社正面にある大木をはじめ、境内裏に4本のアカガシがある。これらは、植栽された大木から実生し、樹叢を形成したと思われる。福島県内では浜通り地方にアカガシの分布が見られるが、中通り地方での分布は珍しい。したがって、塩釜神社のものは分布域の北限として、植物学上貴重な天然記念物と言える。なお、5本中、最も大きい神社正面にあるアカガシは、樹高18.5m、幹周4m、樹齢300年(推定)の巨木であり、福島県の「緑の文化財」に指定されている。また、境内裏の4本についても、幹周りが太い大径木で、見事な林を見ることができる。

資料:町教育課